

大田市教育ビジョン基本計画（概要版）

大田市では、「大田市教育ビジョン基本構想」（平成27年度策定）に基づいて平成32年度までの5年間に取り組む教育施策をまとめた「大田市教育ビジョン基本計画」を策定しました。

1. 基本計画について

基本計画は、基本構想に定められた基本方針、重点目標を達成するために必要な施策や、具体的な取り組みを明確にしたもので、この計画に基づいて学校運営や各種教育関連事業を重点的に推進していきます。

2. 施策の推進体制

教育委員会と関係する市長部局担当課が連携・協働して施策を実施します。また学校・図書館・公民館を中心としてまちづくりセンターや企業、各種団体、社会教育機関など、地域連携を深め、協働して取り組みを進めます。

基本理念

わが里を誇り、大田と世界の未来を拓く^{ひら}

わが里大田は、国立公園三瓶山をはじめとする豊かな自然や世界遺産石見銀山遺跡などを通じて国内はもとより世界にも直結しています。こうした地域の強みを活かし、わが里への誇りを基盤としつつ、大田と世界をつなぎ未来を切り拓いていく教育に取り組んでいきます。

3つの基本方針

生き抜く力を育てる ～三瓶山のように根を据え、高く～

育
社会の変化に応じた知識や技能を習得し、これらを活用した課題解決力、思考力、判断力、表現力などを身につけ、自立し、自他をともに大切に思う心を育みます。

「あるもの」を活かす ～石見銀山や琴ヶ浜、里、山、海そして、ひと～

活
先人が「あるもの」を活かし、創り上げ、継承してきた有形無形の遺産や大田市や周辺にある多様で優れた教育施設等、大田市民や市に縁のある人々を活かした特色ある教育を推進します。

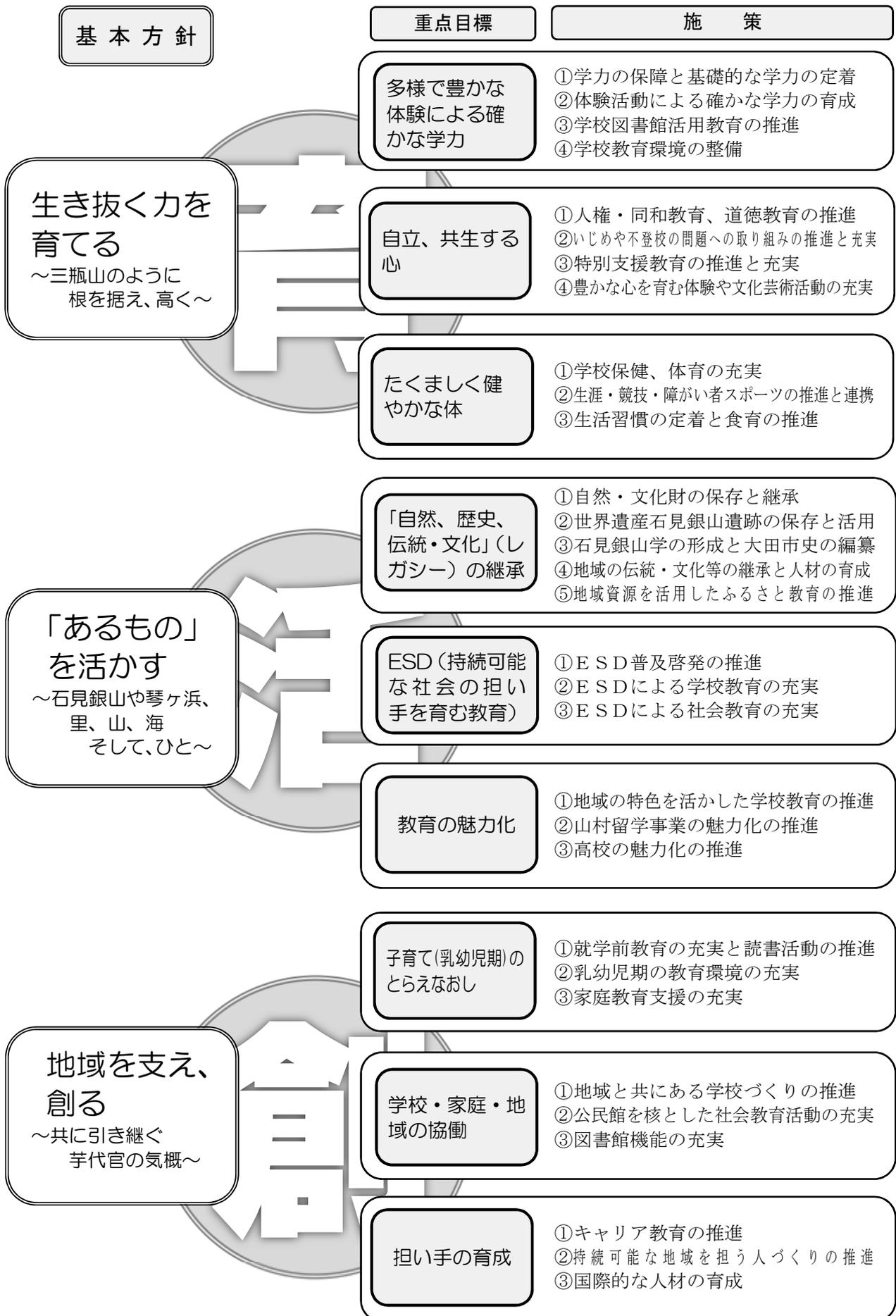
地域を支え、創る ～共に引き継ぐ芋代官の気概～

創
家族を大切に思い、乳幼児期から生涯を通じて共に学びあい、自らを高め、生き抜く力と共に、「あるもの」を活かしていく力を備えた「担い手」になれるよう、学校・家庭・地域が協働して取り組みを進めます。

目標を達成するための基盤

「平和と人権を尊重するユネスコの精神」

大田市教育ビジョン基本計画施策体系



基本方針 1 『生き抜く力を育てる』

重点目標 1 多様で豊かな体験による確かな学力

体験をしっかり積み重ねることや、学校図書館での学びを通じて、主体的に学ぶ力や思考・判断・表現力を伸ばすとともに、知識や技能を定着させるための学力の保障に努める。

施策①学力の保障と基礎的な学力の育成

小学校の複式学級や多人数学級への学習支援員等の配置、中学校での土曜チャレンジの実施などの学習支援や授業改善を推進

施策②体験活動による確かな学力の育成

大田市の「ひと・もの・こと」を活用した学習活動や体験活動や3泊4日以上宿泊体験活動の実施など体験活動の充実

施策③学校図書館活用教育の推進

全小中学校への学校司書等の配置や蔵書など図書館環境の充実、学校図書館を活用した授業の推進

施策④学校教育環境の整備

防災教育、安全教育の推進や安全安心な学校づくり、学習環境の整備

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成27年度の状況

| 取り組み・成果指標 | 平成27年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|-------------------------|----------|-------|---------|-----|
| | 大田市 | 全国 | | |
| 全国学力・学習状況調査結果 | — | — | — | — |
| 算数B平均正答率（小学校） | 40.0% | 45.4% | 全国平均値以上 | 施策① |
| 数学B平均正答率（中学校） | 36.0% | 41.3% | 〃 | 〃 |
| 家庭で1時間以上勉強している児童(小6)の割合 | 60.7% | 62.7% | 70%以上 | 〃 |
| 家庭で2時間以上勉強している生徒(中3)の割合 | 11.3% | 35.7% | 30%以上 | 〃 |
| 図書館活用授業年間時間数（小学校） | 30h | — | 増加 | 施策③ |
| 図書館活用授業年間時間数（中学校） | 17h | — | 〃 | 〃 |

重点目標 2 自立、共生する心

自らを大切にしつつ、いじめを許さず、自立、共生できる力を育てる。

施策①人権・同和教育、道徳教育の推進

人権・同和教育の推進や、「大田市人権施策推進基本方針」に掲げる様々な人権課題の解決に向けた取り組みの推進。「特別の教科 道徳」の推進

施策②いじめや不登校の問題への取り組みの推進と充実

市、市教委、学校のいじめ防止等の取組と体制の強化、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用による相談体制や支援体制の充実

施策③特別支援教育の推進と充実

就学前から高校までの一貫した支援の推進や保健、医療、福祉、特別支援学校等との連携による支援の充実

施策④豊かな心を育む体験や文化芸術活動の充実

学校・家庭・地域と連携した、地域でのボランティア活動、交流活動の推進や本物の文化や芸術に触れ、体験する学習の推進

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成27年度の状況

| 取り組み・成果指標 | | 平成27年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|---------------|-----------------------------------|----------|-------|------|-----|
| | | 大田市 | 全国 | | |
| 全国学力・学習状況調査結果 | | — | — | — | — |
| | いじめはどんな理由があってもいけないと思っている児童(小6)の割合 | 97.8% | 96.2% | 増加 | 施策② |
| | いじめはどんな理由があってもいけないと思っている生徒(中3)の割合 | 94.6% | 93.7% | 〃 | 〃 |
| 不登校児童生徒出現率 | | 0.9% | — | 1%以下 | 〃 |

重点目標3 たくましく健やかな体

体育・スポーツ、仲間との切磋琢磨を通してたくましさを培い、より良い生活習慣と食育で健やかな体を育てる。

施策①学校保健、体育の充実

学校体育の充実・推進や中学校運動部活動費、大会参加費の支援

施策②生涯・競技・障がい者スポーツの推進と連携

体育協会等と連携したスポーツ体験機会の充実やスポーツ指導者の育成、競技スポーツの充実、社会体育施設整備

施策③生活習慣の定着と食育の推進

生活習慣の定着や電子メディアの適切な利用に向けた取り組み、食育の推進

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成27年度の状況

| 取り組み・成果指標 | | 平成27年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|-------------------------|---------|----------|-------|---------|-----|
| | | 大田市 | 全国 | | |
| 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合 | | — | — | 全国平均値以上 | 施策① |
| (全国体力・運動能力、運動習慣等調査) | 小学5年生男子 | 77.5% | 74.0% | 〃 | 〃 |
| | 小学5年生女子 | 56.3% | 56.4% | 〃 | 〃 |
| 朝食を毎日食べている児童生徒の割合 | | — | — | 増加 | 施策③ |
| (全国学力・学習状況調査) | 小学6年生 | 97.1% | 95.6% | 〃 | 〃 |
| | 中学3年生 | 95.5% | 93.5% | 〃 | 〃 |

基本方針 2 『「あるもの」を活かす』

重点目標 1 「自然、歴史、伝統・文化」(レガシー)の継承

豊かな自然、歴史、伝統・文化など有形無形の遺産の尊さを自覚し、誇りをもって守り、継承する。

施策①自然・文化財の保存と継承

国立公園三瓶山や琴ヶ浜などの自然や景観、希少な動植物、文化財等の保存と活用をめざした取り組み

施策②世界遺産石見銀山遺跡の保存と活用

石見銀山遺跡の保存と活用、石見銀山学習の推進

施策③石見銀山学の形成と大田市史の編纂

石見銀山学の形成に向けた概説書「石見銀山ことはじめ」の編集・刊行や大田市史の編纂に向けた取り組み

施策④地域の伝統・文化等の継承と人材の育成

地域の伝統・文化の継承と活用、大田市が生んだ文化人顕彰に係る取り組み

施策⑤地域資源を活用したふるさと教育の推進

三瓶山の自然や三瓶自然館等社会教育施設など大田市の「ひと・もの・こと」を活用した体験活動の推進、地域でのふるさと教育の推進

○取り組み・成果指標(抜粋)の平成27年度の状況

| 取り組み・成果指標 | 平成27年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|-------------------------|----------|----|---------|-----|
| | 大田市 | 全国 | | |
| 文化財保存団体数 | 14団体 | — | 維持・増加 | 施策① |
| 石見銀山保全活用事業(ボランティア・協働)件数 | 4件 | — | 増加 | 施策② |
| 石見銀山学習実施学校数 | 22校 | — | 全校(22校) | 〃 |
| 市民会館での企画・鑑賞事業の実施数 | 17回 | — | 〃 | 施策④ |

重点目標 2 ESD(持続可能な社会の担い手を育む教育)

石見銀山学習、ふるさと教育を入り口として、地域と世界の未来を見据えつつ、自ら課題解決に取り組む学習に発展させる。

施策①ESD普及啓発の推進

ESDの普及に向けた研修の充実と情報発信

施策②ESDによる学校教育の充実

学校の教育活動をESDの視点でとらえなおした取り組みの推進

施策③ ESDによる社会教育の充実

社会教育活動を ESD の視点でとらえなおした取り組みの推進

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成 27 年度の状況

| 取り組み・成果指標 | 平成 27 年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|---------------------------------|------------|----|-----|-----|
| | 大田市 | 全国 | | |
| 教職員や公民館職員を対象とした ESD に関する研修会実施回数 | 5 回 | — | 増加 | 施策① |
| ESD の視点に立った公民館での取り組み実施数 | 91 回 | — | 〃 | 施策③ |

重点目標 3 教育の魅力化

地域の特色を活かした教育環境・教育支援の充実を通じて教育の魅力を高め、「教育移住」など人の流れもつくる。

施策①地域の特色を活かした学校教育の推進

地域の「ひと・もの・こと」を活かした特色ある教育活動の推進や高校と小・中学校との連携による魅力ある学校教育の推進

施策②山村留学事業の魅力化の推進

山村留学事業を大田市の魅力ある教育施策として見直し、留学生の増や市内小学生を対象とした体験活動等についての検討と実施

施策③高校の魅力化の推進

市内 2 県立高校との連携を進め、高校の存続と将来の大田市を担う人材の育成をめざした教育の魅力化を推進

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成 27 年度の状況

| 取り組み・成果指標 | 平成 27 年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|--|------------|----|--------------|------|
| | 大田市 | 全国 | | |
| 計画期間中に 3 泊 4 日以上宿泊体験活動をおこなった小学校数 | 0 校 | — | 全校 (16 校) | 施策①② |
| 大田市生徒が市内県立 2 高校へ進学する割合 | 63.3% | — | 増加 | 施策③ |
| 将来に市内または県内での就職を希望する高校生の割合 (Pitch 2016 アンケート) | 49.2% | — | 増加 | 〃 |

基本方針3 『地域を支え、創る』

重点目標1 子育て（乳幼児期）のとらえなおし

乳幼児期の子育てを教育の一環として充実させるとともに、親学など社会教育による支援をおこなう。

施策①就学前教育の充実と読書活動の推進

就学前統一カリキュラムの実施や子ども読書活動、親子読書の推進

施策②乳幼児期の教育環境の充実

就学前早期からの教育相談・支援体制の充実と特別支援教育の視点による相談・支援の充実

施策③家庭教育支援の充実

親学講座等を活用した学習や情報の提供、「ふるまい（礼儀、作法、挨拶、思いやり等）」の向上定着をめざした活動等の推進

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成27年度の状況

| 取り組み・成果指標 | 平成27年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|-------------------------|----------|----|---------|-----|
| | 大田市 | 全国 | | |
| 就学前の読書活動のための図書館団体貸出年間冊数 | 7,950冊 | — | 10,000冊 | 施策① |
| 親学講座の参加者数 | 232人 | — | 増加 | 施策③ |

重点目標2 学校・家庭・地域の協働

学校・公民館・図書館を核とし、まちづくりセンターや企業なども含めた地域連携により、家庭を支え、地域の教育力を高める。

施策①地域と共にある学校づくりの推進

学校地域支援本部事業の充実やコミュニティ・スクールの導入促進により地域と共にある学校づくりを推進

施策②公民館を核とした社会教育活動の充実

まちづくりセンターと連携し社会教育活動の充実を図るとともに、地域で子どもを育む取り組みを推進

施策③図書館機能の充実

地域課題解決に役立つ資料やその提供方法の充実、学習機会の提供など、図書館機能の充実を推進

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成27年度の状況

| 取り組み・成果指標 | 平成27年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|-----------------|----------|----|-----|-----|
| | 大田市 | 全国 | | |
| コミュニティ・スクール指定校数 | 3校 | — | 6校 | 施策① |
| 放課後子ども教室の実施箇所数 | 19箇所 | — | 増加 | 〃 |

重点目標3 担い手の育成

地域と世界に対する確かな志をもち、地域を愛し、支え、創る担い手を育てる。

施策①キャリア教育の推進

幼児期から高校までを見通したキャリア教育の確立と企業見学、職場体験などのキャリア教育の充実

施策②持続可能な地域を担う人づくりの推進

地域づくりを担う人材を地域振興に繋げる取り組みの推進。ESDの視点に立ったふるさと教育や社会教育活動の推進

施策③国際的な人材の育成

小学校の外国語活動、中学校の英語教育の充実と石見銀山学習を世界遺産学習へ発展させる取り組みの推進。国際交流事業の推進

○取り組み・成果指標（抜粋）の平成27年度の状況

| 取り組み・成果指標 | 平成27年度数値 | | 目標値 | 備考 |
|------------------------|----------|----|-----|-----|
| | 大田市 | 全国 | | |
| 職場体験学習が有意義だったと思う生徒の割合 | 75.2% | — | 増加 | 施策① |
| まちづくりセンター等での国際交流事業実施回数 | 4回 | — | 〃 | 施策③ |
| 国際文化講座参加人数 | 35人 | — | 〃 | 〃 |

平成28年度大田市教育ビジョン策定委員会

○委員名簿

任期 平成28年10月1日～平成29年3月31日

| 役員 | 氏名 | 所属及び役職等 |
|------|-------|------------------|
| 委員長 | 小川 和邦 | 元大田市教育長 |
| 副委員長 | 龍 善暢 | 島根県立三瓶自然館副館長 |
| 委員 | 岩倉 善光 | 大田市保育研究会会長 |
| 〃 | 大迫五十鈴 | 大田市働く女性の家館長 |
| 〃 | 米 卓哉 | 石見銀山テレビ放送(株)総務次長 |
| 〃 | 高橋 泰子 | (有)百年くらぶ代表取締役 |
| 〃 | 武田 祐子 | 大田市校長会会長(久手小学校長) |
| 〃 | 厚朴 邦広 | 自営(農業) |
| 〃 | 八束 義夫 | 大田まちづくりセンター長 |
| 〃 | 山崎 朋子 | スポーツ審議会委員 |
| 〃 | 山根 悦子 | 大田市PTA連合会代議員 |
| 〃 | 和田 弘文 | 大田高等学校PTA会長 |

○開催状況

第1回 平成28年10月17日(月)

- ・委員長・副委員長の選任
- ・大田市教育ビジョン基本計画施策・取組について

第2回 平成28年11月21日(月)

- ・大田市教育ビジョン基本計画「施策・主な取組」について
- ・大田市教育ビジョン基本計画「取組・成果指標」について

第3回 平成29年 1月25日(水)

- ・大田市教育ビジョン基本計画(原案)について